

もちものミッシングゲーム（先生用・進行シート）

領域・形態・時間	聞くこと・話すこと クラス全体 10～15分
ねらい	黒板から消えた文房具カードを当てる。「なくなったもの」を探す目が、ことばの記憶を引き出す。

やり方 この流れでやってみよう

- 1 Cards on the board. Say them together.
カード8枚を黒板に貼り、全員で一度声に出して確認
- 2 Close your eyes!
全員目を閉じる（つぶしてもOK）。先生がカードを1枚かくす
- 3 Open! What's missing?
目を開けて、なくなったカードを当てる
- 4 Answer with the chant: A stapler!
わかったら手を挙げて英語で。全員で「A stapler is missing!」と確認

ラウンド設計（かくす枚数を増やしていく）

ラウンド	かくす枚数	ねらい
1・2	1枚	ことばの想起。テンポよく2回
3・4	2枚	難度アップ。「2つとも」言えたら大かっさい
5	0枚（ひっかけ!）	「Nothing is missing!」の大どんでん返し。教室が最高に沸く
6	1枚+ならびかえ	位置も変える上級ラウンド。目と記憶の総動員

Do you have ...? との接続: ラウンドの合間に「先生はこのカードを持っている?」→ Do you have the pen? と全員で聞かせて、Yes, I do.（ポケットから出す）/ No, I don't. で返すと、単元表現が復習できる。

ルール

(子どもへ) ①^め目をとじるときは、ぜったいにのぞかない（のぞきは1^{かい}回やすみ） ②わかってても さげばず^て手をあげる ③まちがえた^{とも}友だちに「おいしい!」と^いってあげよう

☆レベルアップ! さいごは「子ども先生」ラウンド。かくす役を子どもにバトンタッチ（かくすカードをえらぶのも、Open your eyes! の号令も子どもが英語でやる）。

先生へ（運用のコツ・中間指導）

- ・ ラウンド5の「何も隠さない」が毎年一番盛り上がる。Nothing! を教える絶好の機会
- ・ 隠すカードは「言いにくい語」（stapler / scissors）を意図的に選ぶと、難語の想起回数が増える
- ・ 「子ども先生」ラウンドは Close your eyes! / Open your eyes! の指示英語を子どもに渡すチャンス（教室英語ポスターと連動）